



東京修繕車両所で労災発生！

治療後も帰宅させず現場検証に立ち合わせ！

2025年3月5日、東京修繕車両所の構内操縦者が着発線での作業中に、通路の金具で手を切って大怪我をし、救急車で搬送されるという事態がおきました。しかも治療を終えた当人を帰宅させずに現場検証に立ち合わせるというとんでもない対応がされました。

このような労働災害とその後の対応を二度と発生させないために、新幹線地本は会社に対して早急に団体交渉を開催し誠意ある回答をするよう申し入れました。

申し入れの要旨

- 労働災害発生の経過について詳細に明らかにすること。
- 救急車の要請から搬送に至るまでの経過とその後の対応について明らかにすること。
- 治療を終えた本人を翌日残して現場検証を行なったが、治療後は早めに帰宅させるなど配慮が必要である。この点について会社の見解を明らかにすること。
- 労働災害発生の原因について明らかにすること。
- 再発防止のための対策について明らかにすること。
- 東一両構内の他の危険個所について、点検および対策をすること。

**働きやすい職場をつくるため、ユニオン組合員の皆さんも
共に声を上げていきましょう！**